

# 江差町議会だより

■発行・北海道江差町議会  
■編集・議会広報特別委員会  
〒043-8560  
北海道檜山郡江差町字中歌町193番地の1  
☎ [0139] 52-6713 (直通)

## 大きいさつまいも！

町立保育園（かもめ、日明、水堀）では、土地改良区の協力をいただきながら、越前町の畑でさつまいもの収穫作業を行いました。

子どもたちは畑の中で、悪戦苦闘しながら大きなさつまいもを土から掘り出していました。

収穫したさつまいもは、保育園の親子クッキング事業などで調理して、食べる予定です。



平成26年  
9月議会

## 7名の議員が一般質問 子育て支援関連事業が可決

—もくじ—

- ◇定例会の主な内容・・・・・・・・・・ 2～3P
- ◇行政報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 4P
- ◇一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～11P
- ◇定例会その他審議状況等・・・・・・・・ 12～13P
- ◇委員会報告・・・・・・・・・・・・・・ 14～15P
- ◇全員協議会・・・・・・・・・・・・・・ 16P

平成26年9月定例会が9月5日から9日に行われ、子育て支援関連事業を中心に、条例の一部改正、補正など提案された案件を審議し、原案どおり可決しました。

また、7人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。

# 全会一致で可決

## 第3子以降保育料等無料 子ども医療費18歳まで拡大



日明保育園

今定例会の主な内容としては、照井誉之介町長の所信表明のなかで、「若者が将来に希望が持てるまちづくり」に明記されている

・第3子以降の子どもへの保育料（幼稚園保育料含む）の無料化

・医療費無料化の18歳までの助成拡大

について、条例改正及び補正予算の提案があり、全会一致で可決しました。

議員からは、所得制限の撤廃を決定した理由について、当初予算編成時に実施するべき等の質疑がされました。

一般質問については、照井町長への初めての一般質問であることから、ここ数年の議会では見られなかった7名もの議員から通告がありました。所信表明、選挙公約に関することや、今後の方針を確認する質問等がされました（4～11頁に掲載）。

また、町長の答弁内容等に疑義があるとして、議会が中断、議会運営委員会を開催する一幕もありました。

傍聴者も多数訪れ、照井町長の最初の議会ということで報道関係者や町民の注目が集まっていることがうかがえました。傍聴席は最終日まで連日満席となり、これまでにない定例会となりました。



傍聴席が満席となった町長の所信表明

9月5日～9日 第3回定例会

# 子育て支援策

【子ども・子育て支援制度の概要について】

## 1、幼稚園・保育園の保育料等の無料化

◇趣旨

多子世帯の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、3人以上の児童を育てている世帯に対し、第3子以降の児童が町立保育所又は町内公・私立幼稚園に入所・入園する場合に保育料等を無料化することにより、子どもを生き育てやすい環境づくりに資する。

◇対象となる児童

同一世帯に18歳以下の子どもが3人以上おり、かつ3人目以降の子どもが、現在、町立保育所又は町内公・私立幼稚園を利用している児童及び今後利用する児童。

◇助成内容

第3子以降の保育料（幼稚園は入園料を含む）は無料。

◇実施時期

平成26年10月1日

## 2、子ども医療費の助成拡充

◇趣旨

次世代を担う子どもたちの健やかな成長と健康増進並びに子育て世帯の経済的負担軽減を図り、子どもを生き育てやすい環境づくりに資する。

◇対象者

町内に住所を有する18歳以下の方、ただし、対象者が医療保険各被保険者又は組合員の方、生活保護法の規定により保護を受けている方は対象になりません。

◇制度の拡充内容

- ・対象年齢を15歳（中学生）以下を18歳（高校生）以下に拡大
- ・初診時一部負担金の無料化
- ・所得制限の撤廃

◇実施時期

平成27年1月1日

## 所信表明



照井町長が4つのまちづくりを柱とし、新たな4年間の町政運営について、所信表明を行いました。

「町内が一丸となったまちづくり」

「若者が将来に希望が持てるまちづくり」

「農業、漁業、商工業を大切にすまちづくり」

「歴史、文化、郷土を観光に生かしたまちづくり」

※町長の所信表明の詳しい内容については、町広報10月号に掲載しています。

## 3、対象人数等

◇保育料等無料化

- ・町立保育所 19世帯 20人
- ・町立幼稚園 2世帯 2人
- ・私立幼稚園 10世帯 10人 計31世帯 32人
- ・減免額（年間ベース）671万円

◇医療費助成拡充

- ・対象人数 1,056人
- ・影響額（年間ベース）580万円

※他に、関連条例等の一部改正、必要経費の補正予算が今定例会に提案され、全会一致で可決しました（内容は12頁に掲載しています）。



## 行政報告

七議員が町政を問う  
一般質問

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質すことができる唯一の場です。

## ◆質疑は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

## ◆表示の説明◆

文中の再、再再はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

## 1 一部事務組合の長の選任について

一部事務組合の長については、規約に従い構成町の長により決定することとなっており、過日構成町会議を開催し、次の通り決定したので報告する。

江差町ほか2町学校給食組合長については引き続き江差町長が、南部松山衛生処理組合長については同じく江差町長が、檜山広域行政組合理事長については上ノ国町長が新たに就任し、副理事長に江差町長という体制となった。いずれも8月19日付けの就任。それぞれの一部事務組合の運営については、責任者としての責務を自覚し職務の執行をしていく。

## 2 かもめ島海上遊歩道側壁崩落について

去る8月22日の大雨(24時間降水量78ミリ)による被害状況は、同日午前11時40分頃に、かもめ島海上遊歩道(かもめの散歩道)の側壁が崩落しているとの通報があった。

幸いにも、人的な被害等の大事には至らなかったが、早急に危険防止策を講ずる必要があることから、同日以降、復旧工事が完了するまでの間、通行止めとした。

復旧工事は、今回崩落した側壁付近等についても、新たな崩落の危険性があることから、付近一帯の抜本的な専門家の現地調査を実施した上で、復旧工事を進めたいと考えている。

なお、本定例会に崩落した側壁付近一帯の崩落危険箇所の調査・設計委託費に係る補正予算を上程したことを含め報告とする。

## 3 道立江差病院の一時的な運用病床数の変更について

去る9月1日、北海道保健福祉部道立病院室参事が来庁し、道立江差病院について、看護師の確保が難しい現状から現在の病床数を維持することが困難となったため一時的に運用病床を変更する旨の説明があった。

これまでの経過としては、様々な看護師対策に努めてきたが退職者などを補えるだけの確保に至らず、8月1日現在欠員が29人に拡大している状況で、今年度は、新たに民間人材紹介事業も活用しながら重点的な対策に努めたが確保には至っていない。

現在、他道立病院からの応援も行いながら運営しているが、10月以降、さらに産休者等が生じるため、現行の病床数では夜勤体制が維持できない事態となることなどから、平成26年10月1日から平成27年3月31日までの期間、これまでの運用病床数190床(一般150床、精神40床)を152床(一般112床、精神40床)に変更する内容。

今年度の入院患者数の状況は、4月から7月までの平均は106名、8月13日現在95名の入院患者となっている。

今後は、病床の変更期間内であっても看護師確保対策に努め、早期に現行の病床数に戻せるよう取り組むとしている。

最後に、江差町が取り組んでいる看護師対策については、4名が申請され1名が手続きの準備中であり5名枠が埋まる状況である。

## 4 寄附採納について

・平成26年6月25日、中川キクエ様より江差追分会館へ「江差三下り人形」の寄贈

・平成26年6月25日、江差信用金庫理事長藤谷直久様より、江差信用金庫設立90周年の記念事業として、本店のある市町村に対し「道南杉(江差産)木製ベンチ一脚」時価4万4千円相当の寄贈。

# 「しがらみ」をこじって

**町長** 公正公平な町政運営のため乗り

越えていかなければならない

室井 正行 議員（政友会）

濱谷町政のどこに「しがらみ」と利害関係があると認識されたのか。具体的に2つの事例を。

**町長** 公正公平な町政運営を目指す上で、「しがらみ」や利害関係を乗り越えていかなければならない。

具体例として、ひとつめは、私は町内に親戚・縁者がなく、「しがらみ」とは無縁であると思っている。

ふたつめは、新聞記者時代から特定の団体や組織と偏った付き合いはしていないということ。これから町政運営を進めて行く上で、住民目線で町内全体のことを考えて取り組んでいく。

**再** 何故所信表明に謳わないのか。

行政には限界がある。これまでも信頼関係によって民間の力を借りた実績がある。町長にその

ような認識は無いのか。

**町長** 「しがらみ」がないことを政治姿勢としてアピールしてきた。決して壁を作って行政をやっていくつもりはない。敵、味方を作らず、一丸となった町づくりをしていきたい。

**再** 遊説車から聞こえる言葉について感情を抱いたのは私だけではない。

**町長** ご指摘のような意図は全くなかった。私自身の問題、立場として選挙戦訴えた。

## 「JR江差線廃止後の土地やレールの有効活用について」

具体的にはいつの段階で何を実現するのか。

**町長** 駅舎周辺用地の利活用をどうするか、また鉄路廃線後のインフラ整備については一定の方



5月11日に行われたJR江差線ファイナルイベントのようす。和服姿で出迎えと見送りを行った。駅前広場では、ステージイベントの他に、松賣丸や江差木古内間代替バスが展示された。この日をもって江差駅から列車が姿を消した。

向付けをしなければならぬと考えている。地域や議員にもご意見をいただきながら進めたいと考えている。現段階での具体的な計画の明示は困難であり、理解願いたい。

**再** 知恵を出して今から検討すべき。事業メニューの選定と基本構想、事業費の概算をすぐやらなければならぬ。後手後手にならないよう事前協議をしっかりとすべき。

**町長** 早期に関係課長

集めて検討していきたい。議会の皆さんにも意見をいただきながら計画などの策定に取り組んでいきたい。

**再** 早めに案が出来たら提示してもらいたい。いつ頃になるか。

## 「宿泊施設に対する施設整備支援、誘致について」

施設の整備に対する財

政支援についてどのような協議をしたのか。

宿泊施設の誘致、既存経営者への悪影響、シミュレーションしているか。

**町長** 改修経費の一部助成により、施設改修を促進し、宿泊施設の魅力をアップし、宿泊数の増加を図り地域の活性化に繋げたい。

宿泊ニーズの上昇を図りながら、併せて新たな宿泊施設の誘致にも努めたい。

**再** 祭りや追分大会時に何故集会施設が使えないのか。

また、地元の経営者のことも考えて誘致問題をやらなければいけない。軽々しく言うべきでないのでは。

**町長** これまでの経緯を精査しながら、できることを着実にやっていきたい。

既存施設を守り、支援も行いながら、その後に宿泊施設の誘致を考えていきたい。

# 「養護老人ホームひのき荘(ひのき)」

町長 早期整備に向けての方針を示していきたい

小林 栄治 議員 (日本共産党)



今年のひのき荘敬老会のようす。築約50年にもなる施設は老朽化が進んでいる。民間建設計画が白紙となり、今後の方針、計画がどうなるか注目されている。

所信表明で早期整備に向け、「検討と協議の再構築」とある。どのような考えなのか。

町長 施設整備は、多大な財政負担を伴うものであり、今後のあり方、運営方法を含め、建て替え方法など、多角的な視点から再度検討する必要があります。

町長 施設整備は、多大な財政負担を伴うものであり、今後のあり方、運営方法を含め、建て替え方法など、多角的な視点から再度検討する必要があります。

町長 施設整備は、多大な財政負担を伴うものであり、今後のあり方、運営方法を含め、建て替え方法など、多角的な視点から再度検討する必要があります。

町長 施設整備は、多大な財政負担を伴うものであり、今後のあり方、運営方法を含め、建て替え方法など、多角的な視点から再度検討する必要があります。

に入居者に説明している。その後の経過は報告する段階までいっておらず説明はしていない。今後計画が固まり次第、家族も含め丁寧な説明をしていきたい。

## 「医療介護推進法の制定について」

町としての取り組みはどのようなものか。

町長 現行の要支援者の予防給付は全国一律の基準の内容を維持しなければならぬと思うが、町長の考えは。

町長 町は地域包括支援センター機能の強化、地域ケア会議活用推進事業や住民参加型高齢者支援等推進事業に取り組んでいる。地域力の向上や地域課題の抽出、高齢者見守り支えあいネットワーク「チーム江差」の構築などを行っている。

現行の要支援者サービス内容の維持について、第6期の介護保険事業計画を作成、策定する中で、サービスの提供について

議論していく。

度、地域経済の支援も考えた制度設計があつていいのではないかと。町長の見解は。

町長 北海道における住宅リフォームに関する支援制度を設置している自治体は、48市町村あり、そのうち管内では今金町とせたな町が制度を導入している。

町長 経済波及効果等を考え、今後の政策において優先順位を考慮し検討したい。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

町長 店舗への補助等、一般住宅以外に取り組んでいる例があるか。

## 「住宅リフォーム政策について」

広く住宅リフォーム制

## 「行財政運営の基本姿勢について」

### 町長 行財政改革の推進に取り組む

飯田隆一 議員（政友会）

公債費比率を堅持し、収支バランスの取れた健全な財政運営を行うべき。

また、事務事業を民間に移譲すべきと考えるが、町長の所信は。

町長 町の財政再建は道半ばと考えている。事務事業の見直しを行いながら、より一層行財政改革の推進に取り組んでいく。

再 子ども医療費の助成の問題などは補正でやるべきでない。このような義務的経費が財政を圧迫してきた。町長はどう考えるか。

町長 公約で掲げたものをできるものから着実に取り進めることが町民との約束である。財政を見極めながら判断し、提案している。

再 どのような内部協議がされたのか。また、民間移譲の想定は。

総務財政課長 将来的なシミュレーションを計算し、数年間、大丈夫だと確認している。

町長 関係課の課題、事務事業の民間への委託

が出来るのかをしっかりと精査していきたい。

### 「ひのき荘の早期整備について」

町でやりたいと言ったのは事実か。

今後の民間事業者の対応は。

これまでの政策をどう評価するか。

町長 多角的に検討し、どの方法が良いのか町民に見える形で決定したい。

民間事業者への働きかけは、透明性を確保した上で対応していきたい。今後整備方針の再構築を図っていかなければならない。

再 構想は持ち合わせしていないのか。

措置費についてどう考えるか。

議会の常任委員会でも取り上げている問題。議会の総意をどう考えるか。

町長 必要性は認識している。早期にどのような方法がいいか、透明性のある中で検討していきたい。

たい。  
どのような定員がいいのか、将来人口推計も見据えながらしっかりと検討していきたい。

議会の要請は、しっかりと踏まえて方針を決めていきたい。

再 議会の総意で民間化を進め、町もそれを受けて検討してきている。理解していないのではないか。

町長 まだ検討の余地があるのではと考える。より良い形を一緒に模索していきたい。

### 「ふるさと納税について」

全体構想は。

どの程度の税増収が図れるか。

町長 先行地域や近隣の町状況調査を実施し、総合的な制度設計を考えたい。

仕組みづくりに向けて協議、検討を重ね、制度の見直しを図りたい。

### 「教育課題について」

町長が言うところの全小中学校の小中一貫教育の概要と教育効果は。

町長 学校給食問題について、今後の対応と信頼回復に向けた方策は。

町長 3校がすでに、

江差中学校区、小中トライアングルサポートに取り組んでいることから、小中一貫教育への足がかりと捉えている。

教育効果は、文化の違いを超え、お互いの連携により克服し、義務教育9年間で学習や生徒指導上の課題を小中の教師が同じ認識で取り組むことにより、より良い児童生徒を育て上げている。

とだと考えている。

教育長 二度と不祥事を起こさない体制づくりと子どもたちが安心して美味しく食べられる給食を提供することが、組合として何よりも大事な

こと。構成町として、今後とも一層の努力とともに協力していきたい。

再 所信表明に小中一貫教育導入について入れないのか。公約と違う認識では。

教育長の責任の取り方について、所信を求めたい。

町長 公約と違わないと認識している。トライアングルサポートの先には小中一貫教育があると思っている。

教育長 色々な意見があることは承知しているが、全力を尽くして問題の解決にあたっていきたいと考えている。



江差小中学校、中学校の小中一貫教育の中で、中1ギャップを解消する取り組みの一つとして行われた「ソーシャルスキル学習」のようす。ソーシャルスキルとは「体験を通して学んだ他者との交流の仕方」という意味で、社会性やコミュニケーション能力の育成をねらいとしている。

## 「農業政策について」

**町長** 適した農業振興策を見出し確実に実行したい

小笠原 淳夫 議員（政友会）

温泉熱を利用した高単

価の農産物の生産体制と

いう公約があるが、所信

表明で触れておらず、た

だ検討とあるが、4年間

のうちに温泉を何カ所

掘って、施設は何カ所設

置するのか。新たに掘る

ということか。何の作目

を作るのか。資金対応は、

町の農業実態を知ってい

るのか。

**町長** 公約に掲げた高

単価な農作物の生産体制

の強化については、必要

な施策であるものの、作

目や品種、財源対策など

の具体的なアクションプ

ランの策定には農業者を

始め、関係機関との意見

交換や連携は不可欠なも

のと考えている。当地に

適した農業振興策を見出

し、確実に実行していき

たい。

ていない。

町の農業実態を語るに

足りないことは承知して

いるが、農業者との懇談

の場を設け、今後の農業

ビジョンのあり方につい

て、意見交換を行いたい。

**再** 温泉を掘らないで

どう利用するのか。

江差の農業経済があ

り、町政の役割があるは

ずでは。

**町長** 今ある温泉を活

用できないか考えてい

る。

国の制度を無視した経

営はできないと思ってい

る。国の動向を見極めな

がら判断したい。

**再** 町として農業振

興政策は考えていないと

いうことか。所信表明に

ついて、担当課長との相

談は無かったのか。

**町長** 庁内で検討した

に述べている。

## 「檜山広域行政組合について」

理事長が交代し、この

際に出向職員を引き揚げ

るべきと思うが。

**町長** 理事会の体制が

変わったものの、事務局

及び消防本部の組織は変

わらない。派遣職員は構

成町の相互理解の中で取

り決めており、また派遣

元の定員計画との兼ね合

いも考慮しなければなら

ない。従って、現段階で

は引き揚げは考えていな

い。

**再** 引き揚げることに

何か複雑な問題があるの

か。

**総務財政課長** 行政組

合単独で職員が採用でき

ればいいが、そういう情

勢にない。各町の相互理

解の中で決めていく。

**町長** エゾシカが増加

傾向にあるものの、出没

被害状況は少数でその実

態を把握出来ていない。

## 「鹿の駆除について」

全道的な問題になって

いるが、当町でも鹿が4、

5年の間に増えている。

駆除についてどういう体

制をとるのか。

**町長** エゾシカが増加

傾向にあるものの、出没

被害状況は少数でその実

態を把握出来ていない。

出没情報等を基に巡回な

どを強化しながら、人的

及び農作物等の被害防止

のために、各関係機関、

団体と連携を密にしなが

ら対応を図っていきた

い。



（上）檜山広域行政組合本部が入っている消防庁舎。  
（右）行政組合には、消防課と総務企画課がある。町からは4名が派遣されている。

議会を傍聴してみませんか？  
次は第4回定例会  
12月中旬開会予定です  
日程など詳しいお問合せは  
議会事務局 ☎ 52-6713 まで



# 「集中豪雨対策はどうなっているか」

町長 避難体制はパトロール等で判断している

小野寺 真 議員（日本共産党）

町内の災害危険箇所、特別警戒区域等の指定、住民の合意等の現状は。

土砂災害時の避難体制の現状は。

町長 急傾斜地崩壊危険箇所が90箇所、土石流危険渓流が37箇所、地滑り危険箇所が1箇所となっている。そのうち警戒区域は44箇所、特別警戒区域が38箇所となっている。区域指定状況は、平成19年度から昨年まで住民説明会を実施し、合意できたのが15箇所、内訳は、警戒区域が15箇所、そのうち特別警戒区域が10箇所という現状。今後の対策は、更なる指定に向け、住民に対し丁寧な説明を行っていききたい。

避難体制については、職員のパトロール、住民からの情報を参考に判断している。

再 土砂災害時のひのき荘の避難対応は。

地域防災計画の見直し、避難計画を実行性のあるものにすべきでは。

ひのき荘荘長 町内会、町の担当と連絡を取り合い対応していく。

建設水道課長 すべての災害に準備できるものではない。避難場所が適正なのか等、計画の見直しの中で調べて作ってきたい。

## 「地震・大津波対策を万全に」

10月15日の防災訓練の想定は。

地域防災計画の見直しを急ぐべきでは。

建設水道課防災係の体制は1人でいいのか。

町長 平成26年10月15日午前10時、北海道南西沖、奥尻島沖の北40キロ付近で震源の深さ10キロ、震源の規模マグニチュード7・8と推定される地震が発生、その3

分後、大津波警報が発令されたとの想定での防災総合訓練を行う。

年度内を目途に町防災計画の見直しを考えているが、道と連携し必要な情報を収集し、計画策定前に急ぐ対策は検討していききたい。

建設水道課全体の連携で防災体制を整えているのが現状で、職員体制の見直しも今後検討したい。

直しをするべきでは。訓練の関係町内会等との連絡、調整を早くすべき。

総務財政課長 最も体制を取りやすい方策として配置している。現状の体制を検証しながら詰めていききたい。

町長 役場体制が今のままでいいのか、配置を検討して判断していきたい。



10月15日に行われた総合防災訓練のようす。災害対策本部を役場庁舎から消防庁舎への機能移転訓練など多くの訓練が行われた。

## 「高齢者、子どもが安心して暮らせるまちづくりを」

空き地等の活用も含めたミニパーク、既存の公園等での休息できる場所等の整備を。

函館バスのノンステップ化について強く要請を。

町長 町としても可能な対応策を講じている現状にあり、ベンチの設置、休憩スペースの確保に努めている。また、地域や住民の自主的な活動にも期待している。

運行事業者への要請は今後、機会をみて要請したい。

町長 ノンステップの実態も含め、高齢者対応等の情報を入手することも必要では。

## 政策推進課長

事業者側は更新時にノンステップバスへの導入を考えている状況。新幹線対策等での路線の見直し等も今後出てくる状況もあり、現状把握に努めていきたい。

他に「教員の労働実態の把握について」を質問しています。

## 「若者が将来に希望が

### 持てるまちづくりについて」

町長 この地域の定住を促進していきたい

萩原 徹 議員（政友会）

一体どんな町づくりか。

所信表明等で若者の定着には雇用が必要と言っているが、雇用促進ではどんなことを考えているか。

町長 ひとつは農業や漁業に従事する若者を育てたい。ふたつめは、子育て世代の世帯の経済的負担の軽減を図り、この地域の定住を促進していきたい。

雇用の促進については、産業のすそ野を広げた上で、若者が地域に誇りを持ち、安心して暮らせる雇用環境の創出に努めたい。また、企業誘致にも力を注ぎ、雇用の促進に繋げていきたい。

再 若者が住みやすい町として、住宅に関してどう考えるか。

町長 若者が定住できる住宅政策については、公営住宅整備等の中で検討していきたい。

再 地元の企業支援策をどのように考えてい

町長 住んでいる人が残れる環境を作っていかなければならない。そのためにも地元の企業、農業者、漁業者が元気でなければ実現できない。積極的な政策を行っていき

たい。

### 「空き家を活用した宿泊対策について」

町長 空き家を活用できる

宿泊対策に活用できる空き家を何軒想定していることなのか。また、どのような手法で行うのか。

町長 空き家の宿泊対策をどうするかという観点だけではなく、空き家の活用策をどのようにしていくかという観点から必要な政策を今後検討していきたい。

再 法的に可能かどうか、また所有者の意向はどうか、などを踏まえて対応していきたい。



愛宕町商店街。経済産業省の補助事業で、外灯のLED化が実施される予定になっている。

町長 町としてどうい

うことができるか精査し

政策にしていきたい。

再 空き家を利用し

た宿泊をどうするのか詳

しく聞きたい。

町長 空き家を活用し

た政策を考える上で、そ

れが宿泊施設として利用

できるかを合わせて検討し

ていきたい。

### 「商店街対策について」

町長 公約の中で、商工業を

大切にしている町づくりとあ

るが、商店街振興はどの

ように考えているか。

町長 描いた上で、国や道など

の支援も模索して、地域

の方々と一緒に商店街づ

くりと活性化を成し遂げ

たいと考えている。

再 所信表明の高度経

済成長期の町並みの再現

とはどういうことか。

町長 この町の経済の

発展の意味で商店街の意

味ではない。商店街づく

町長 役場改革の意味

は、職員の能力を最大限

生かすことであり、これ

まで以上に職員と意思疎

通を図り、信頼関係を築

### 「役場改革について」

町長 役場改革の意味

は、職員の能力を最大限

生かすことであり、これ

まで以上に職員と意思疎

通を図り、信頼関係を築

いていきたい。

再 役場改革の意味

は、職員の能力を最大限

生かすことであり、これ

まで以上に職員と意思疎

通を図り、信頼関係を築

いていきたい。

再 役場改革の意味

は、職員の能力を最大限

生かすことであり、これ

まで以上に職員と意思疎

通を図り、信頼関係を築

いていきたい。

## 「町長の所信表明の役場改革について」

町長 職員とコミュニケーションを図り行政運営に生かしていきたい

大門 和子 議員（無党派）

職員の能力を最大限に生かす取り組みとして、職員研修は絶対に必要である。内部の研修だけでなく、外に出していくべき。これからの役場改革について何か考えは。

町長 町長は外交の際に職員を連れて行くべき。それが人脈、ネットワークに繋がっていく。これから先の町のため、人材を育てるべきでは。

町長 今後の長寿命化計画等、技術職は必要。技術職は一般職の仕事もできる。キャリアのある技術職の配置をしては。

町長 町長に随行するなどで人脈、ネットワークを広げるとは同じ考えである。若い世代が意欲を持ってそういう場に出で、将来の江差町のため、管理職になっていただくために、ひとつの提案として受け止める。

町長 町長は外交の際に職員を連れて行くべき。それが人脈、ネットワークに繋がっていく。これから先の町のため、人材を育てるべきでは。

町長 今後の長寿命化計画等、技術職は必要。技術職は一般職の仕事もできる。キャリアのある技術職の配置をしては。

ければ検討できないことも現状ある。適正配置がどうあるべきか、採用はどうあるべきかを見直したいと思っている。

## 「女性の登用について」

一般職の女性管理職はいないが、女性の登用について、どういう考えを持っているのか。

町が関わる委員会等は女性が多くないように思える。女性の視点を生かすべきと思うが、町長の考えは。

町長 女性の登用については、何も拒むものではない。職員の採用、管理職の登用については、男女平等の理念のもと、前向きに考えていく。

2つめの条例委員等の積極的な登用は、前向きに考えていきたい。また、議員から質問のあった役場職員の女性の数

は、役場職員103人いるうち、女性は36名、35パーセント。また女性の管理職、これは全体管理職17人いる中で、2人、これは主幹職で、割合は



(上) 女性職員が多い健康推進課。保健師等の専門職、一般職、臨時職員が混在している。  
(右) 現在、町には女性の課長職がないため、議場（町側）に女性の姿はない。



# 江差中学校備品・外溝整備など

9月5日～9日  
第3回定例会

## 1億7,530万8千円を補正



9月定例会補正予算は、中学校改築事業に係る備品や外溝整備に関する経費、町道除雪対策、臨時福祉給付金給付事業などの予算補正が行われたほか、子育て支援策関連条例の一部改正も行われました。議員は、漁業用燃油対策、中学校難視聴対策の丁寧な説明などについて質疑し、今後の方針等について確認しました。

建設中の江差中学校（正面玄関の外観と内部）

### 【補正予算】

#### ◇一般会計

- ・江差中学校改築外溝整備 4,940万7千円（国庫支出金他）
- ・江差中学校備品整備 3,500万円（全額一般財源）
- ・町道除雪対策 3,092万6千円（全額一般財源）
- ・臨時福祉給付金給付事業 1,147万円（全額国庫支出金）
- ・「町企業立地の促進及び雇用の奨励に関する条例」に基づく雇用奨励助成 1,020万円（全額その他特定財源）
- ・子ども医療費助成 958万9千円（道支出金他）
- ・社会保障・税番号制度に係るシステム整備等 731万6千円（国庫支出金他）
- ・漁業用燃油高騰緊急対策 500万円（全額一般財源）
- ・母子保健（定期予防接種） 331万8千円（全額一般財源）
- ・かもめ島海上遊歩道側壁調査設計 232万2千円（全額一般財源）
- ・農地台帳システム改修 216万円（全額道支出金）
- ・江差中学校改築に伴うテレビ難視聴対策 211万7千円（全額一般財源）
- ・高齢者肺炎球菌予防接種支援 193万5千円（その他特定財源他）
- ・子育て世帯臨時特例給付金給付事業 100万7千円（全額国庫支出金）
- ・町道姥神中歌線ロードヒーティング分電盤撤去 46万8千円（全額一般財源）
- ・道の駅設備改修 45万2千円（全額一般財源）

#### ◇国民健康保険費特別会計

- ・疾病予防対策（高齢者肺炎球菌予防接種助成） 70万円（道支出金他）

#### ◇介護保険特別会計

- ・平成25年度介護給付費負担金等返還 192万1千円（全額一般財源）

### 【認定】

平成25年度決算認定議案は決算審査特別委員会に付託され、委員会で審議の上、次回定例会で認定議決されます。

### 【報告】

#### ◇平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率について

### 【承認】

#### ◇平成26年度水道事業会計補正予算（第1号）の専決処分の承認を求めることについて

- ・柳崎町の事業所建替地の水道管移設 341万1千円

### 【条例改正】

- ◇子ども医療費の助成に関する条例の一部改正
- ◇江差町立幼稚園設置条例の一部改正
- ◇重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正

### 【その他】

- ◇北海道市町村職員退職手当組合を組織する団体の増加及び組合規約の変更について



担当課からの説明を聞く議員

## 議会の動き

7月25日

- ◆総務産業常任委員会（出席3名、欠席2名）
  - ・林業活性化に関する事務調査

7月28～29日

- ◆社会文教常任委員会視察研修（秋田県小坂町他）（出席4名、欠席1名）
  - ・文化財の保存・活用に関する事務調査

7月30日

- ◆江差町ほか2町学校給食組合議会第2回定例会
- ◆議会運営委員会（出席4名）
  - ・第4回臨時会について
- ◆第4回臨時会（出席12名）

8月4～5日

- ◆総務産業常任委員会視察研修（秋田県能代市他）（出席4名、欠席1名）
  - ・林業活性化に関する事務調査

8月20日

- ◆議会運営委員会（出席5名）
  - ・第3回定例会について
- ◆H25年度決算審査特別委員会
- ◆総務産業常任委員会（出席4名、欠席1名）
  - ・林業活性化に関する事務調査
- ◆社会文教常任委員会（出席5名、欠席1名）
  - ・文化財の保存・活用に関する事務調査
- ◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）
  - ・9月号広報議会コーナーについて

8月27日

- ◆渡島檜山議長連絡会議（鹿部町）

9月1日

- ◆議会運営委員会（出席5名）
  - ・第3回定例会について

9月5～9日

- ◆第3回定例会（出席12名）

9月9日

- ◆H25年度決算審査特別委員会

9月12日

- ◆全員協議会（出席10名、欠席2名）
  - ・経済産業省事業を活用した商店街の活性化の一連の事業について

9月25日

- ◆社会文教常任委員会（出席6名）
  - ・パークゴルフ場に関する事務調査

9月30日

- ◆江差町ほか2町学校給食組合議会第1回臨時会
- ◆南部桧山衛生処理組合議会第2回定例会

10月1日

- ◆社会文教常任委員会（出席6名）
  - ・パークゴルフ場に関する事務調査（町内視察）

10月9日

- ◆全員協議会（出席11名、欠席1名）
  - ・職員の不祥事について

10月9～14日

- ◆H25年度決算審査特別委員会

10月10日

- ◆檜山広域行政組合議会第2回定例会

10月14日

- ◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）
  - ・11月号議会だよりについて

10月22日

- ◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）
  - ・11月号議会だよりについて

## 人事案件を可決

4件の人事案件を全会一致で可決しました。



◇副町長（新任）  
田畑 明氏

- ◇固定資産評価審査委員（再任） 横野 晃一氏
- ◇教育委員会委員（再任） 小路 政信氏
- ◇監査委員（新任） 近藤 偉喜氏



## 意見書を提出

9月定例会では12件の意見書を提出、7件を可決し、関係行政機関へ提出しました。

- ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◆2015年度予算（介護・子ども）の充実・強化を求める意見書
- ◆軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書
- ◆産後ケア体制の支援強化を求める意見書
- ◆奨学金制度の充実を求める意見書
- ◆魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書
- ◆「危険ドラッグ（脱法ハーブ）」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

# 総務産業常任委員会『林業活性化に関する事務調査』

平成26年第1回定例会で委員会を発足し、3回の会議を開催し、資料を基に担当課の説明を求めるとともに、柳崎地区の生活環境保全林の現地視察や、関係機関への聴取、さらには秋田県能代市の「風の松原」及び青森県青森市の「浅虫生活環境保全林」への視察研修を実施し、調査を終了しました。総務産業常任委員会（委員長 若山明廣）としての報告の概要は次のとおりです。

江差町字柳崎町に所在する柳崎生活環境保全林（飛砂防備保安林・保健保安林）は、明治初期の乱伐と激しい北西の季節風によって柳崎地区が荒廃砂地となり、この砂地が内陸にせまってきたことから、田畑の一部を不毛にして、集落は危険な状態にさらされるようになった。このため昭和23年から昭和37年にかけて先人たちの筆舌に尽くしがたい努力の結果、柳崎飛砂防備保安林11ha、国有林砂坂海岸林70haが整備され、今日背後の田畑、人家を守っている。

この成果を次の世代に引き継いでいくことが、我々の責務でもあることから、下記のとおりその対策を講ずるべきである。

## 1) 林内整備のための予算化について

・林業は、植栽にはじまり伐採に終わるというサイクルがあり、それがなされないと、森林の荒廃に繋がる懸念が多分にある。

・従って、先人が苦勞して守り育ててきた、この財産を今後も後世に伝承していくためにも、飛砂防備保安林と生活環境保全林を兼ね備えた保安林として維持管

理するための経費の予算化をすべきである。

- ①下草刈り・・・憩いの場とするためには、必要な作業である。
- ②水道敷設・・・憩いの場とするためには、必要不可欠なもの。
- ③防除（松くい虫・ねずみ）・・・維持管理のためには、必要不可欠なもの。

## 2) 林内における触れる機会の創出について

生活環境保全林として再整備し、檜山森林管理署や檜山振興局とも連携して、住民がこの森林に関心をもってもらえるような機会の創出を図ること。

〈創出企画案〉

・森林浴、動植物等観察会、倒木等清掃、下草刈りほか

## 3) 檜山森林管理署及び檜山振興局との連携強化について

・当町の生活環境保全林（飛砂防備保安林）と国の砂坂海岸林は、管理上で分割されているが、一体化した約81haの保安林である。

・この森林は「癒しの場所」としての住民への周知、また飛砂防備保安林、保健保安林等の「多面的機能を有する森林」としての存在がある。今後の業務遂行にあたり、更なる連携強化をしながら取り進むべきと考える。

◆檜山森林管理署・・・林内行事の合同開催の検討

◆檜山振興局・・・植栽及び間伐材の適期調査等



（左上）秋田県能代市で「風の松原」について説明を受ける  
（左下）（中央）「風の松原」を説明を聞きながら歩く  
（右上）青森市「浅虫生活環境保全林」を歩く  
（右下）「浅虫生活環境保全林」の管理棟で担当者から説明を受ける



# 社会文教常任委員会『文化財の保存・活用に関する事務調査』

平成26年第1回定例会で委員会を発足し、4回の会議を開催し、資料を基に担当課の説明を求めるとともに、町内文化財の現地視察、さらには秋田県小坂町、青森県青森市での視察研修を実施し、調査を終了しました。社会文教常任委員会（委員長 大門和子）としての報告の概要は次のとおりです。

江差町には、各種の有形無形の重要文化財等が数多くある。国指定文化財2件、道指定文化財11件、町指定文化財33件、合計46件である。

近年、歴史的な建造物や町並みを歴史的資産として捉え直して、現代の町づくりに活かそうと取り組んでいる自治体が増加してきている。

文化財はもともと地域住民の人々の財産として、保存伝承されることで、その価値が多くの人々に理解され、地域住民の誇りとして継承されるものであることから、市民が主体となった保存、伝承の取り組みが重要であると考えます。

今後も、指定文化財の保存修理等の保護活動についても行政で実施するものはあるが、町民参加型の保存伝承の取り組みを進め、持続可能な文化財保存、活用の体制を確立することが重要であり、次の点に留意して推進すべきである。

## 1) 歴史的建造物の保存、活用することの基本的な考え方について

◆旧中村家住宅、旧檜山爾志郡役所の冬期間での開館活用を図ること。

・平成27年度末には、北海道新幹線がいよいよ開通となるが、この観光形態の変化に対応していくかで地域間格差が拡大するものと考えます。

・周辺町と連携を密に図るとともに、観光客を呼び込むためのひとつとして冬期間の開館活用を積極的に図ること。

◆文化財設置場所への案内看板・パンフレットを整備すること。

・国、道以外の町指定文化財については、文化財の理解に加え観光振興の観点からも、設置場所までの案内看板表示が少ないのでその案内板設置及び関係課と連携してその表示パンフレットの整備を図ること。

## 2) 歴史的建造物の計画的修繕計画の策定について

◆旧中村家住宅、旧檜山爾志郡役所、旧関川家別荘においては、日常の管理を適正に行い、一定のサイクルで修理を行うことが保存のために重要である。特に国及び道指定等文化財の修理については、建造物の歴史や技法についての調査を踏まえ、文化財保護法に基づき町、北海道、国と協議して修繕計画書を作成し、適切な修繕に努めること。

## 3) 歴史的建造物に触れる機会の創出について

◆歴史的建造物は、地域の歴史を伝えるとともに魅力を高める貴重な財産であり、可能な限り後世まで保存伝承していくことが我々の責務である。特に住民が貴重だと認識する建物の維持管理については、所有者のみの問題でなく、住民や各種団体が一緒になって持続的に支える仕組みづくりが必要と考える。そのためには、その建物を「大切にしよう」、「残そう」という機運の醸成が必要であることから、触れる機会の創出（建物周辺清掃及びガイド等）に努めること。

## 4) 歴史的専門分野業務の推進について

◆江差町教育委員会で所蔵している歴史的資料は、展示している資料だけではなく、旧檜山爾志郡役所の敷地内にある「古文書資料収蔵庫」で保管している古文書資料や柏町にある「旧技専収蔵庫」に保管している民具資料、考古資料等、総数にして10万点を超えている。しかし、基本的な資料作業が遅々として進んでいない状況が見受けられる。

町内の歴史的建造物とともに、これらの貴重な資料を整理保存して活用していくことが、地域の魅力向上の有効な手段であると考えます。

そのため、職員の現状配置を見直し、専門分野業務が推進されるように努めること。



(左上) 秋田県小坂町で今年オープンしたばかりの小坂鉄道を見学  
(中央) 小坂町の芝居小屋で施設の管理等について説明を受ける  
(右上) 小坂町役場で担当から文化財等について聞き取り  
(左下) (右下)「三内丸山遺跡」を見学



# 全員協議会を開催しました！

9月12日、10月9日、全員協議会が行われました。  
その内容についてお知らせします。

9月12日



9月12日の全員協議会のようす

## ・経済産業省事業を活用した商店街の活性化の一連の事業について

経済産業省事業を活用した商店街の活性化事業について、町長は、「事業の申請者であり、事業主体となる「江差商工会」及び「江差中央商店街組合」などから、町に対して、事業申請の取り進め、町の財政的支援などに対する要請を受けた。早々に所管課をはじめ関係部署が集まり、事業の取り進め方法、町の財源対策など、一定の方向付けを協議し、議員のご意見を頂いた上で取り進め方針を確認したい。町としても最大限の支援をして参りたい」と説明しました。事業の概要は次のとおりです。

申請事業名	事業概要	申請者	該当商店街	事業費	経済産業省補助	自己負担額
商店街まちづくり事業	商店街街灯のLED化	江差商工会	愛宕町商店街(34灯)	271万円	154万円	117万円
			新地町街灯組合(30灯)	834万円	503万円	331万円
			法華寺通り商店街(15灯)	1,495万円	917万円	578万円
			計	2,600万円	1,574万円	1,026万円
	江光ビル・瀬野田ビルの解体	江差中央商店街組合	江差中央商店街組合	1億2,636万円	7,800万円	4,836万円
地域商業自立促進調査事業	①江光ビル解体後の跡地活用 ②法華寺通り商店街のファサード(建物の正面部分)整備・コミュニティ施設及び駐車場の整備等	江差商工会	江差中央商店街組合 法華寺通り商店街	770万円	475万円	295万円
合計				1億6,006万円	9,849万円	6,157万円

10月9日

## ・職員の不祥事について

老人ホームひのき荘の不適正事務について、町長が、冒頭謝罪し、経過や内容等について、議員へ説明がありました。

〈経過〉

9月19日に判明以来、計12業者、173万6,819円の未払いがあった。

〈業者への対応〉

副町長、荘長が業者を訪問、謝罪し、支払いは全額完了している。遅延業者以外の業者に未払いの照会を行った。

〈再発防止策〉

課長会議において全課支払遅延の有無確認指示及び支払適正処理文書を配布し、支払遅延が無いことを確認。課長会議で、経理事務の基本的な取扱基準を確認。

〈職員の対応〉

今後賞罰審査委員会へ処分案を諮問。



現在の江光ビル内部(6階プレイルンド)



江光ビル及び瀬野田ビル(左端附属ビル部分)の外観



この用紙は、原材料の一部に  
道産間伐材を使用しています